



標準仕様の木製建具（和室）

## 地域住宅ブランド化事業

# 採択トップ団体（四国）が木製建具を標準採用

## 木製建具の復活劇がはじまった

長期優良住宅で坪50万円以下。そうした求めやすい価格帯の地域型住宅が近年注目を集めている。

年度内に350棟目標

「ゆにっと四国優良木造住宅推進協議会」は、高知県中小建築業協会（立道と男会長）が提案する地域型住宅「ひめ・さぬき・とさ・あわの家」を推進する協議会。

地域型住宅としては全国最大規模のグループで、地域工務店245、設計事務所73、原木供給33、製材・集材製造・合板製造86、建材流通114、木材を取り扱わない流通82、その他40の合計703企業や組合によって構成されている。

国土交通省の補助事業「平成25年度地域住宅ブランド化事業」に292棟分が採択された。配分額は2億9200万円で、昨年度よりも140棟増加している。10月時点での申請数は100棟ほど。年度内に追加分も視野に入れて350棟を目標としている。昨年度の補助対象住宅の坪単価は47万5810円。これは補助金を差し引いた参考価格を示すことで、長期優良住宅であっても